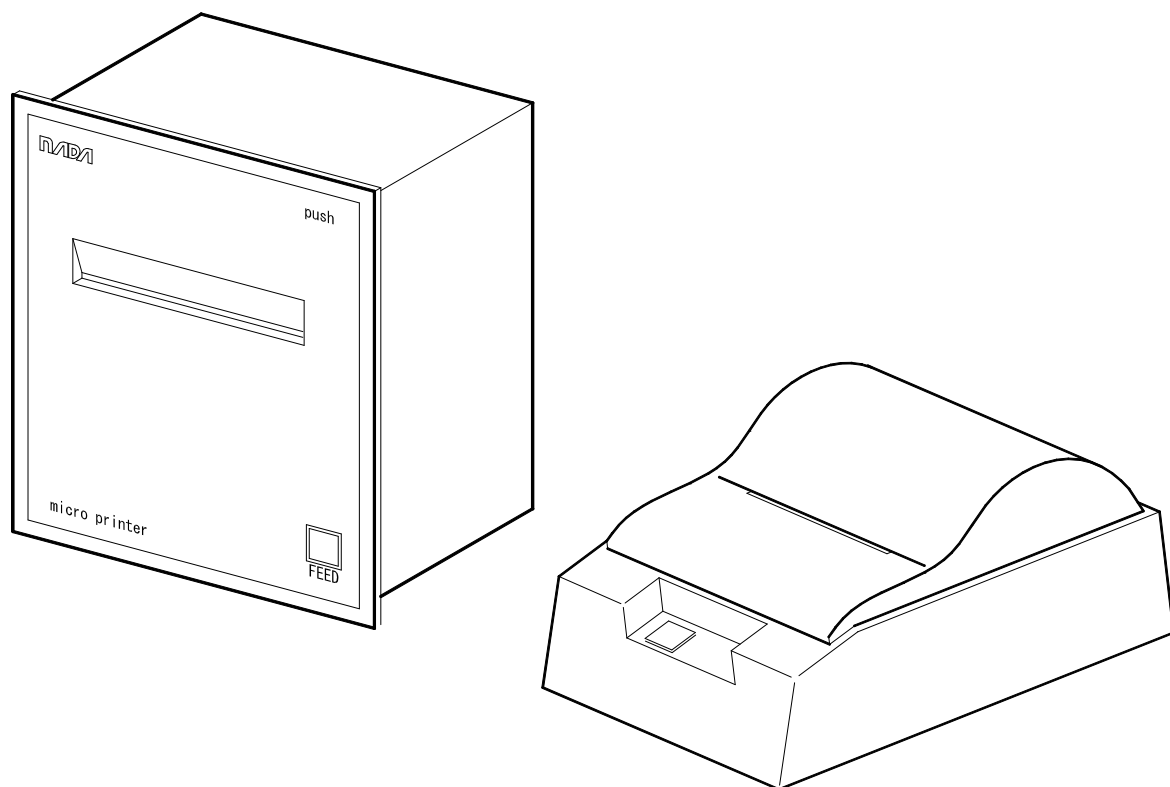


インパクトマイクロプリンタ

MODEL
MP / MPT - 19XF シリーズ

操作説明書



このたびは、インパクトマイクロプリンタをお買い上げいただき誠に有り難うございました。
正しくご使用いただくために、この操作説明書をよくお読みのうえ、末永く、ご愛用くださるよう
お願い申し上げます。
お読みになった後は、大切に保管してください。

ナダ電子株式会社

V1.0
技2S-220804

安全上のご注意

※ ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
又、お読みになったあとは 本製品の近くなど いつでも見られる場所に必ず保管して下さい。



この「安全上のご注意」では、製品を正しくお使い頂き、あなたや他人の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな注意事項を絵表示で示します。

注意事項は、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を危害や損害の程度によって「警告」、「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守り下さい。

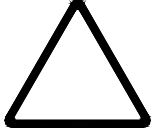





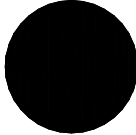


その表示と意味は次の様になっています。

内容をよくご理解の上、本文をお読み下さい。

☆ 危害・損害の程度とその表示

 警告	この表示を無視して 誤った取扱いをしますと、人が死亡 又は 重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して 誤った取扱いをしますと、人が傷害を負う可能性が想定される内容 及び 物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	<p>この記号は一般的な注意、警告、危険の通告に使用します。 図の中に具体的な注意内容が描かれています。</p> <p>(例)</p> <p> : 一般的な注意事項</p> <p> : 感電注意</p>
	<p>この記号は一般的なしてはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容が描かれているものもあります。</p> <p>(例)</p> <p> : 分解禁止</p> <p> : 接触禁止</p>
	<p>この記号は必ず従っていただく内容であることを告げるものです。 図の中に具体的な指示内容が描かれています。</p> <p>(例)</p> <p> : 一般的な行為の指示</p> <p> : 電源プラグ抜け</p>



警告



電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、がたつきのない様に刃の根元まで確実に差し込んで下さい。

ほこりが付着したり 接続が不完全な場合は、火災・感電の恐れがあります。
(プラグは根元まで確実に差し込んで下さい。)



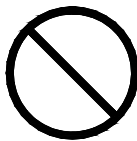
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないで下さい。又、重い物をのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないで下さい。

電源コードが傷んだ時は、販売店に交換をご依頼下さい。そのまま使用しますと火災・感電の恐れがあります。



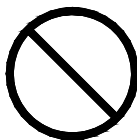
表示された電源電圧以外の電圧で使用しないで下さい。又、タコ足配線はしないで下さい。

火災・感電の恐れがあります。
(交流100V 50/60Hzの商用電源コンセントに接続して下さい。)



必ず電源を接続する前にアース接続して下さい。

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に火災・感電の原因となる恐れがあります。



取り外したカバー、キャップ、ネジ等は小さなお子様が誤って飲むことがないように、又、本装置を包装しているビニール袋は誤って被ることがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いて下さい。

万一の場合は、ただちに医師と相談して下さい。



警告



濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないで下さい。
感電の恐れがあります。



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるい時は使用しないで下さい。
そのまま使用すると火災・感電の恐れがあります。



本機を分解・改造しないで下さい。
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、火災・感電の恐れがあります。



本機のキャビネットを外さないで下さい。
内部の点検、修理は販売店にご依頼下さい。
内部には電圧の高い部分や鋭利な部分があり、感電やけがの恐れがあります。



湿気やほこりの多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないで下さい。
火災・感電の原因となる恐れがあります。



本機の上や近くに薬品や水などの入った容器 又は 金属物を置かないで下さい。
万一、こぼれたり 中に入った場合は、火災・感電の原因となる恐れがあります。
異物（水、液体、金属片など）が中に入った時は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡下さい。
そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。

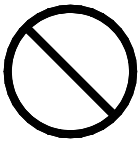


警告



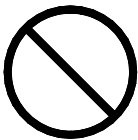
本機の開口部等から内部に金属類や燃えやすい物等の異物を差し込んだり、落としたりしないで下さい。

火災・感電の原因となる恐れがあります。



本装置に水をかけたり、濡らしたりしないで下さい。

火災・感電の原因となる恐れがあります。



ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、振動や衝撃の多い場所には置かないで下さい。

落ちたり 倒れたりして、けがの原因になることがあります。万一、本機を落としたり キャビネット等を破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡下さい。そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。



万一、発熱している、煙が出ている、変な臭いがする等の異常が見つかった場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡下さい。

お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめ下さい。

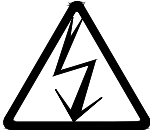


機器を落としたり、カバー等を破損した場合は、本装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。その後、販売店にご連絡下さい。

そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。



警告



オプション機器の取り付けや取り外しを行う場合は、本装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてから行って下さい。

感電の恐れがあります。



オプション機器を接続する場合には、取扱説明書に書かれていない機器は接続しないで下さい。

火災・感電の原因となる恐れがあります。



注意



本機を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行って下さい。

又、接続ケーブルなども外して下さい。

作業は足元に十分注意して行って下さい。

コードが傷つき、火災・感電の原因となったり、機器が落ちたり倒れてけがの原因となることがあります。

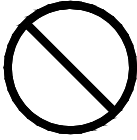


電源コードは、必ずプラグを持って抜いて下さい。

電源コードを引っ張りますと コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



注意



通電したまま 本機をカバー等で被わないで下さい。

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。



直射日光の当たる場所や暖房機の近くなど、高温になる場所に長時間放置しないで下さい。

高温によってカバーなどが加熱、変形、変色、溶解する原因となったり、機器内部が高温になり、火災の原因となることがあります。



本機の上に重い物を置かないで下さい。

置いた物がバランスをくずして倒れたり落下してけがの原因となることがあります。



調理台や加湿器のそば等 油煙や湯気があたる様な場所に置かないで下さい。

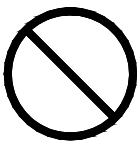
火災・感電の原因となる恐れがあります。



この機器の通風孔をふさがないで下さい。

通風孔をふさぐと 内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

本機を壁ぎわ等に設置する場合は、必ず10cm以上離して下さい。



結露状態のまま使用しないで下さい。

火災・感電の原因となることがあります。

室温の低い所から暖かい場所に移動した場合 又 室内の温度を急に上げた場合は、ご使用前に30分以上放置して結露状態を取り除いて下さい。



注意

	<p>電源コードを熱器具に近づけないで下さい。 コードの被覆が溶けて、火災・感電の恐れがあります。</p>
	<p>カードなどの差し込み口に指などを入れないで下さい。 けがの原因となることがあります。</p>
	<p>記録紙交換等の際に、プリンタのギアに髪の毛やスカーフ等を巻き込まれない様にご注意下さい。 けがの原因となることがあります。</p>
	<p>プリンタへのヘッド部分には触れない様にご注意下さい。 けが・火傷の原因となることがあります。</p>
	<p>連休等で 長期間本機を使用しない時は安全のため、必ず 電源プラグをコンセントから抜いて下さい。</p>
	<p>落雷の恐れがあるときは、安全のため 必ず 電源プラグをコンセントから抜いて下さい。 火災の原因になることがあります。</p>
	<p>重量のある機器を移動する場合は、必ず 2人以上で運んで下さい。 腰や手を痛める恐れがあります。</p>

*** 目 次 ***

□ 使用上の注意	1
□ 付属品の確認	3
□ 各部の名称と機能	5
□ F E E DスイッチのL E Dランプについて .	8
□ リボンカセットのセット方法	9
□ ロール紙のセット方法	10
□ ロール紙のカット方法	11
□ 壁面取付時のセット方法 (M P Tのみ) ...	12
□ 消耗品の購入について	13

□ 使用上の注意

○ 設置について

- ・本機は振動が生じない様な場所で ご使用ください。
- ・高温・多湿 又、直射日光の長時間当たる場所でのご使用は避けてください。
- ・揮発性有機溶剤・アンモニア・油等の液体賈霧環境 又は 石や鉄分を含むホコリの多い場所でのご使用は避けてください。
- ・衝撃や振動の加わる場所や強い電磁界、腐食性ガスの発生する場所でのご使用は避けてください。
- ・電源ノイズの大きい機器（例えば空調機器）との電源の共用は避けて 独立した専用コンセントをご使用ください。（又、これらの機器とは離してご使用ください。）

○ 電源について

- ・電氣的なノイズを発生する機器（コンプレッサー等）からはなれたコンセントを使用してください。
- ・電源コードを濡れた手で取り扱わないでください。

○ 用紙について

- ・用紙の保管や扱いには特に注意して、変形や破損の生じる様な置き方、取り扱いはしないでください。
- ・湿気の多い場所 及び 乾燥しやすい場所に用紙を保管しないでください。

○ 用紙切れ

- ・用紙切れになった時は、F E E Dスイッチのランプが約1秒周期で点滅します。
- ・印字中に用紙切れになった場合は、新しい用紙をフィードスイッチにより挿入し セットしてください。
- ・フィードスイッチをはなした後に 用紙がセンサーにて検出されると、プリンタは続きのデータを印字します。

○ メカについて

- ・メカ部の主な板金部（プレス部）は メッキ鋼板を使用している為、端面に多少の錆が発生する場合があります。
- ・メカ部リセット検出器にリードスイッチを使用している為、磁気の影響を受けない様に注意してください。

○ 印字ヘッドについて

- ・用紙 及び リボンカセットをプリンタ装置にセットしていない状態で印字しないでください。空印字しますと印字ヘッドやプラテンが傷みます。
- ・印字ヘッドが動いている時は、印字ヘッドに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。
- ・印字ヘッドは高温になります。温度が十分に下がるまで、手で触れないでください。
- ・印字中に電源コードを抜かないでください。

○ リボンカセットについて

- ・リボンカセットは純正品をご使用ください。
- ・純正品以外のリボンカセットの使用は、リボンカセットの走行不良や印字ヘッドの劣化などの障害を起こすことがあります。純正品以外のリボンカセットを使用して 印字ヘッドが損傷した時の責任は負いかねます。
- ・リボンがたるんだ状態でのご使用は避けてください。

○ 印字品質について

影響を受ける項目	影響度	説明
印字文字数(行数)	大	リボンの寿命に影響し、印字濃度が薄くなります
印字間隔	大	連続印字の場合は印字濃度が薄くなります
使用環境	大	湿度が低くリボンが乾燥すると印字濃度が薄くなります
印字ヘッドの個体差	大	個体差により隣り合う文字に印字濃度差が出ます
製品間の個体差	小	個体差により同一条件下でも製品間で濃度差が出ます
電源電圧	小	規定範囲内では影響は少ないですが無視は出来ません 印字濃度、印字速度に影響します

○ 衝撃について

- ・本機は精密な電子部品でできていますので、落としたり 物を当てたりして衝撃を与えないでください。

○ 水や異物について

- ・本機内部に水や液状の物が入ったり、ピン・クリップ等の金属類を落とし込んだりしないでください。本機が故障する可能性があります。
- ・水や液状の異物が入った場合は、すぐに電源コードを抜いて 購入された販売店までご相談ください。

○ 汚れについて

- ・本機の外装部ケース等の汚れは、柔らかい布に水 又は 中性洗剤を少し含ませて軽く拭き取ってください。
- ・シンナーなどの揮発性の物で拭いたりしますと 筐体ケースの変色などの原因となります。

○ 故障の場合

- ・万一 故障が発生した場合は、電源コードを抜いて 購入された販売店までご相談ください。

○ その他の注意

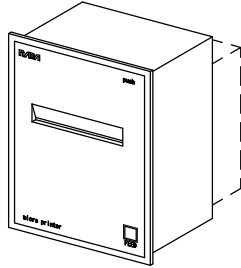
- ・本書の内容の一部 又は 全部を無断転載することはお断りします。
- ・本書の内容に関しては 将来予告なしに変更する場合があります。
- ・本製品がお客様により 本書の内容に従わず不適當に取り扱われたり、また ナダ電子(株) 及びナダ電子(株) 指定の者以外の第三者により 修理・変更されたことなどに起因して生じた損傷等につきましては、責任を負いかねますので ご了承ください。

□ 付属品の確認

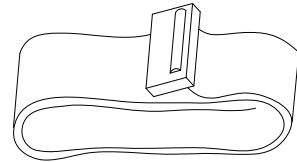
梱包箱より 本体部を取り出して、付属品を確認してください。

1. MPタイプの場合

プリンタ本体



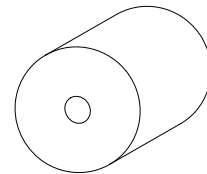
インターフェースケーブル (1 m)



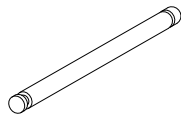
リボンカセット (黒) : IR-91B



ロール紙 : NR-582

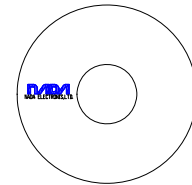


ロールシャフト : S-11



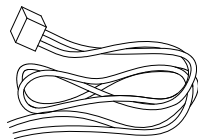
取扱説明書／操作説明書 (CD-ROM)

(場合により付属しない場合があります)

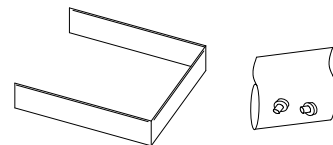


※オプション (DC 24 V仕様)

電源ハーネス (1 m)



取付金具・ビス

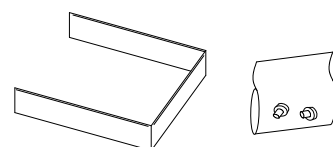


※オプション (AC 100 V, アイソレート仕様)

ACコード (1.5 m)

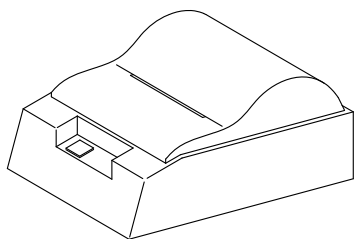


取付金具・ビス

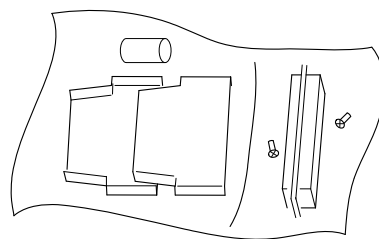


2. MPTタイプの場合

プリンタ本体



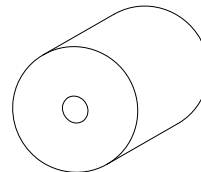
インターフェースコネクタ (DB-25P相当品)



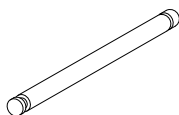
リボンカセット (黒) : IR-91B



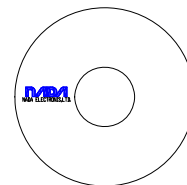
ロール紙 : NR-582



ロールシャフト : S-11

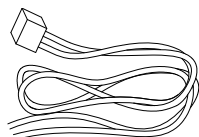


取扱説明書／操作説明書 (CD-ROM)
(場合により付属しない場合があります)



※オプション (DC 24V仕様)

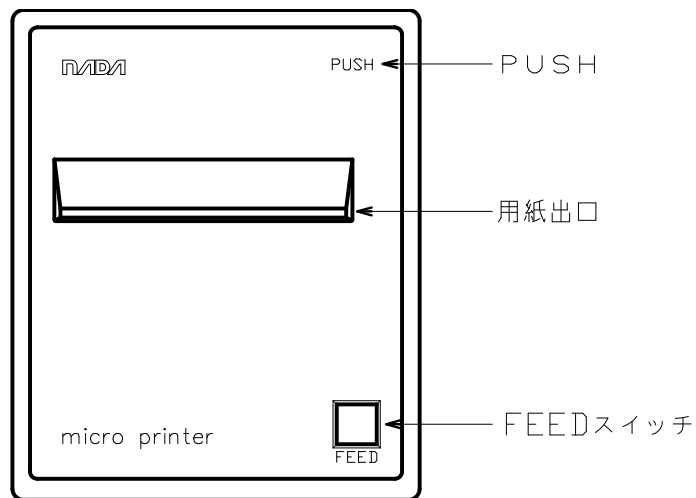
電源ハーネス (1m)



□ 各部の名称と機能

1. MPタイプの場合

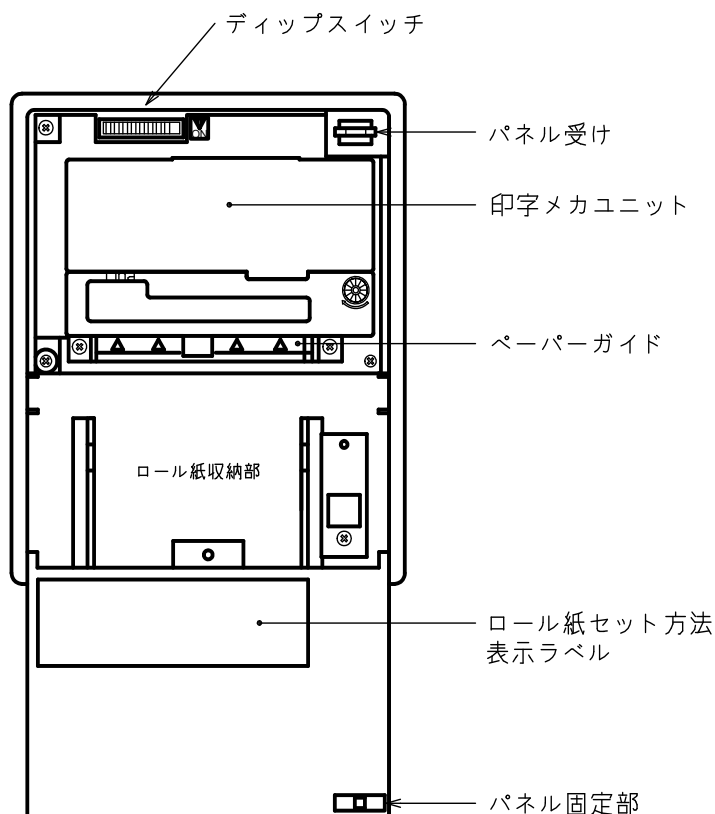
1) 前面



PUSH : ここを押すと 前パネルが開きます。
閉める時も ここを押し込んでください。

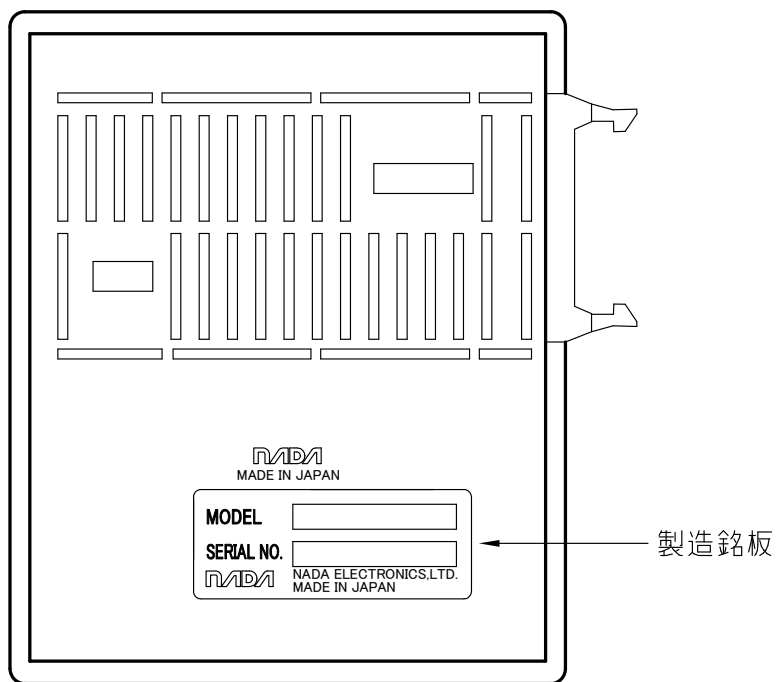
FEEDスイッチ : スイッチを押すと 紙送りします。
押し続けると 連続紙送りを行います。

2) 内部

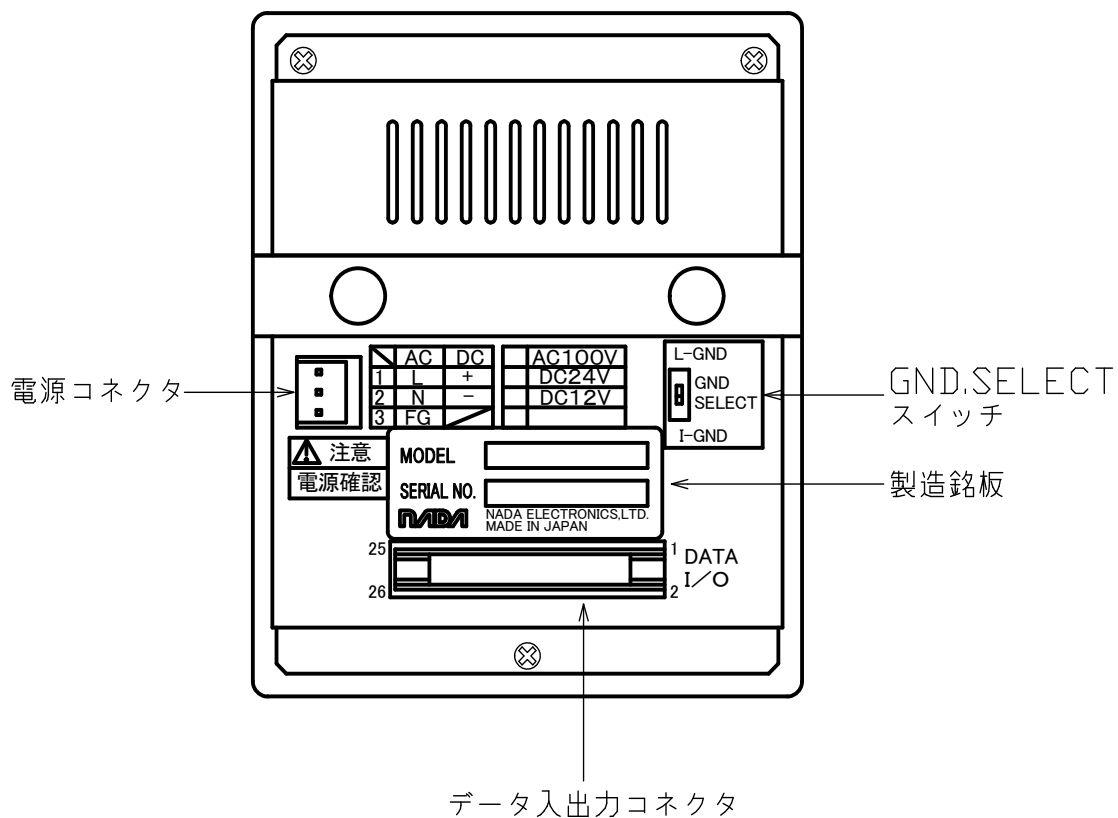


ディップスイッチの設定は各機種取扱説明書を参照してください。
(ディップスイッチの位置は機種により異なります)

3) 背面 (電源無し)



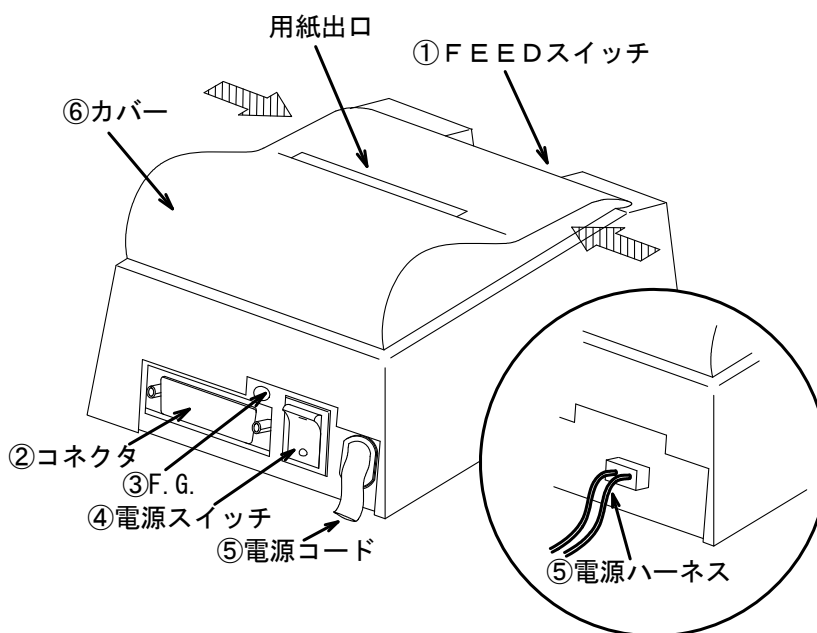
4) 背面 (電源有り)



GND SELECTスイッチはアイソレート仕様の場合にのみ設けられます。

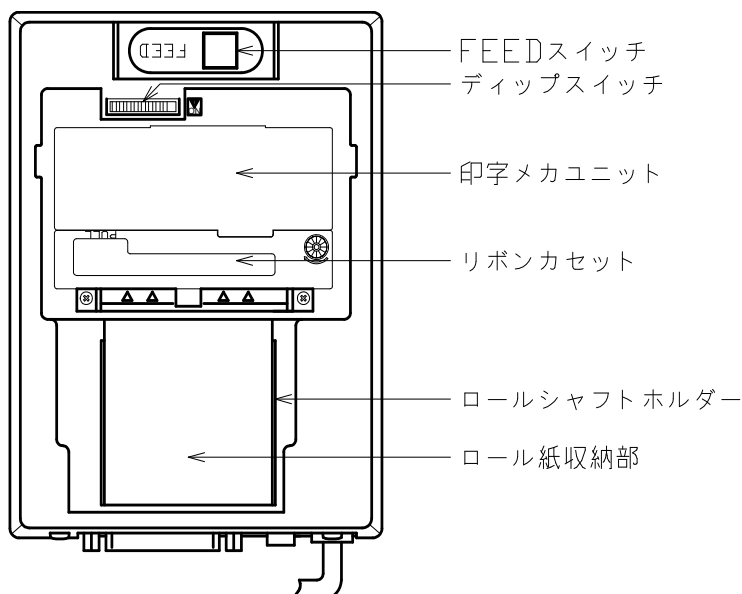
2. MPTタイプ

1) 外観



- ① FEEDスイッチ：このスイッチを押すと ロール紙が送られます。
- ② コネクタ：外部とのインターフェースコネクタを接続します。
- ③ F. G.：接地用ターミナルです。
- ④ 電源スイッチ（AC100V仕様のみ）：電源をON/OFFする為のスイッチです。
上側を押すとON，下側を押すとOFFとなります。
- ⑤ 電源コード もしくは 電源ハーネス：
AC100V仕様の場合は AC100V 50/60Hz 電源供給用コード、
DC24V，12V，5V仕様の場合は 電源ハーネスとなります。
- ⑥ カバー：矢印部を押しながらプリンタ前方側を引き上げると外れます。

2) 内部



デイップスイッチの設定は取扱説明書を参照してください。

□ FEEDスイッチのLEDランプについて (MP, MPTタイプ共通)

電源を投入した時にLEDランプは消灯しています。

1. LEDランプが点滅している場合

- ペーパーエンド
- メカニズムERROR (紙詰まり等によりモーターがロックされた時や、プリンタメカニズムの故障時に起きます)

2. LEDランプの動きについて

ペーパーエンド

通常	ペーパーエンド発生	ペーパーセット完了後のFEEDスイッチ動作 又は ペーパーセット後に30秒間連続してペーパー有りと認識した時
消灯	点滅(約1秒間隔) →	消 灯

メカニズムエラー

通常	メカニズムエラー	プリンタの 電源を切る	紙詰まり等が あれば取り除く	プリンタの電源 を再投入する	通常
消灯	点滅(約100ms間隔) →				→ 消灯

□ リボンカセットのセット方法


1. リボンカセットの挿入は 紙を除去した状態で行ってください。
2. 挿入する時は 予め リボンカセットのリボン送りローラを矢印方向に回転して、リボンをピンと張っておいてください。（下図1参照）

リボンカセットはプリンタの左右フレームの切欠部に リボンが渡る様に位置決めして、リボン送りローラをロックすることなく、上から軽く押さえてセットしてください。（下図2参照）

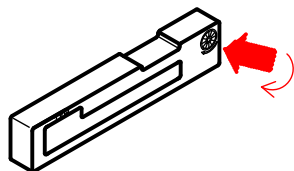
リボン送りローラを矢印方向に回転させながら押さえると セットしやすいです。

尚、挿入する時にリボンが捲れ上がってしまった場合は、セットした状態で 更にリボン送りローラを回転させるにより リボンを所定の位置まで下げることが出来ます。（下図3参照）

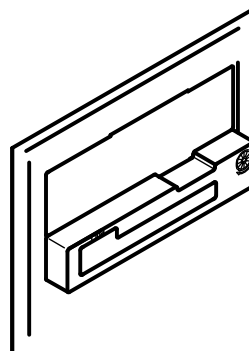
3. 取り外す時は、リボンカセットのPULL部を爪で引っ掛けて手前に引っ張ると外れます。（下図4参照）

 注意	リボンカセットは、純正品（IR-91B）を使用してください。 純正品以外を使用されると、本来の性能を発揮出来ない上に 故障の原因となることがあります。
---------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------

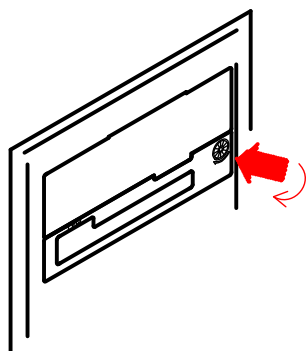
①



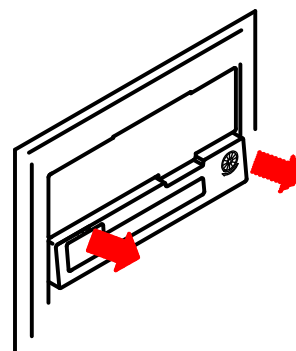
②



③

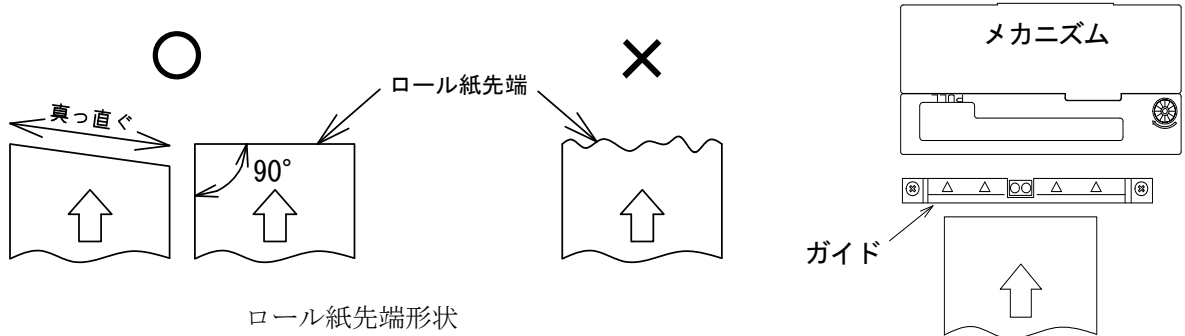


④

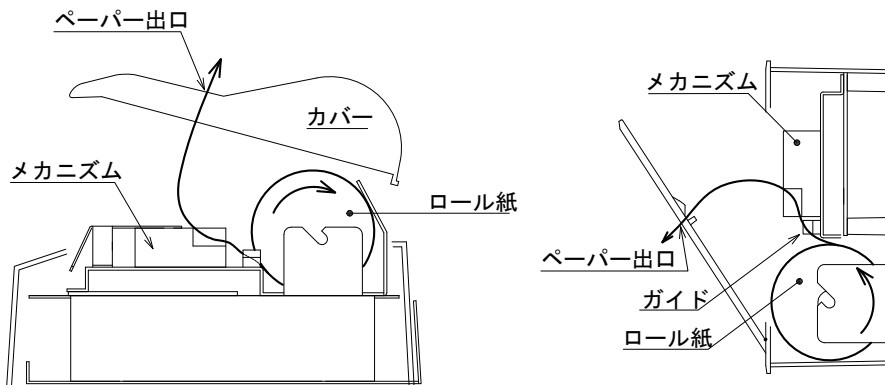


□ ロール紙のセット方法

1. ロール紙の紙管にロールシャフトを入れます。
2. ロール紙の巻き方向を間違えない様に注意して ロールシャフトをロールシャフトホルダーにセットします。
3. ロール紙の先端は下図に従って、水平または真っ直ぐにカットしてください。
先端を2つ折りにしてメカニズムに挿入すると 紙詰まりの原因になる為、禁止します。



4. ロール紙をペーパーガイドの△印に沿って挿入します。
5. 印字メカニズムからロール紙が10cm程度出るまでフィードスイッチを押し続けてください。
6. 前パネルあるいはカバーの用紙出口にロール紙を通し、前パネルあるいはカバーをセットします。



7. MPタイプの場合

push部を押して扉をロックしてください。

前パネルを閉じる時にロール紙にたるみがないかを確認してください。

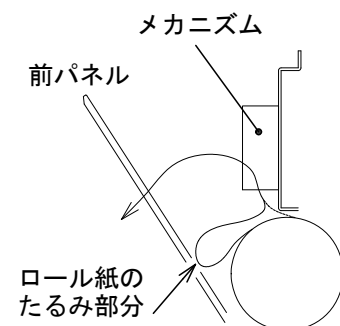
たるみがあると、ロール紙が前パネルとメカニズムに挟まれて印字不良の原因となります。


8. 次の行為はメカニズム破損の原因となるので禁止します。

1) 印字、紙送り中に記録紙を引っ張る。

2) 記録紙を急に引き抜く。

詰まった記録紙を引き抜く際は、ゆっくりと供給側に引き抜いてください。

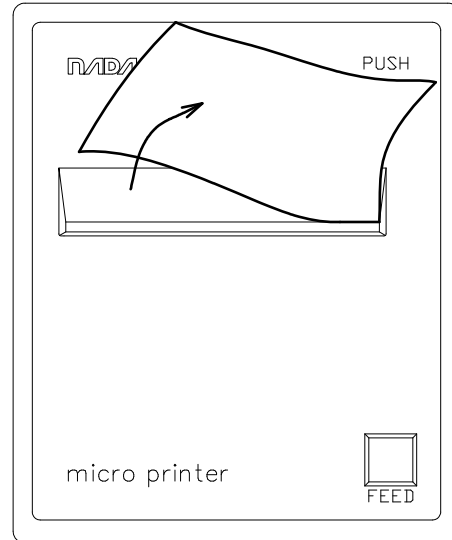
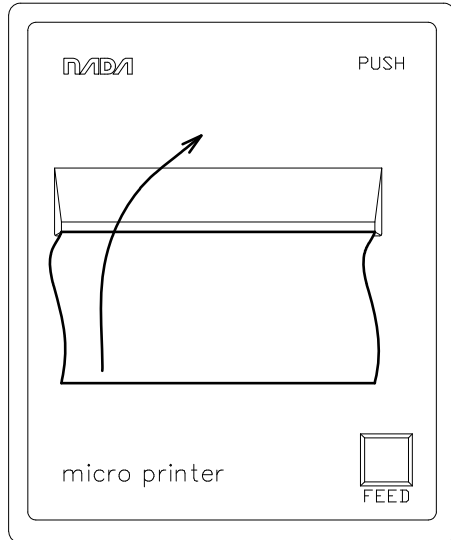


 注意	<p>ロール紙は、純正品（NR-582）を使用してください。</p> <p>純正品以外を使用されると、本来の性能を発揮出来ない上に 故障の原因となることがあります。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------

□ ロール紙のカット方法

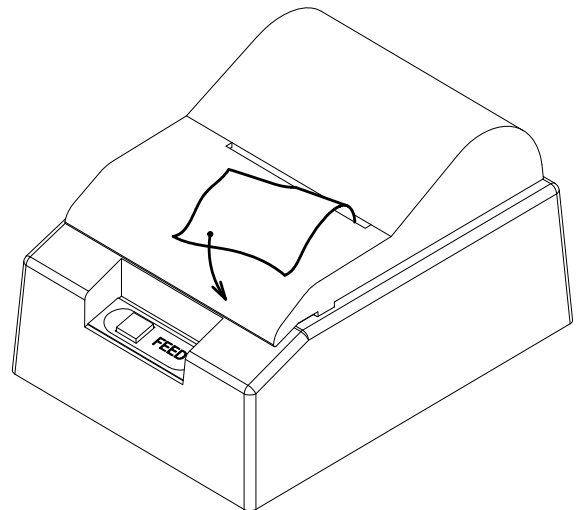
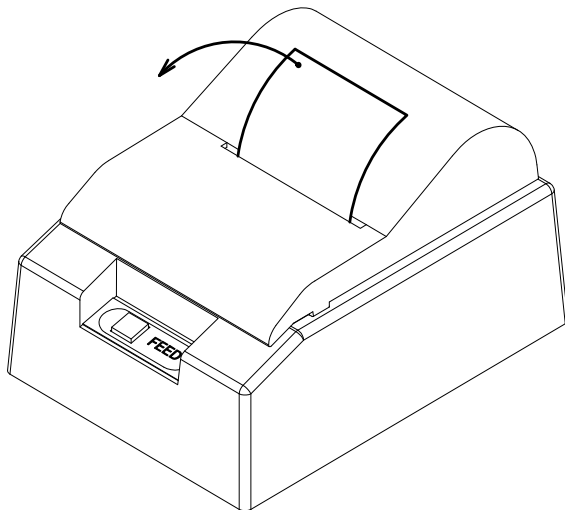
1. MPタイプの場合

印字後のロール紙のカットは、ロール紙を手前に引かず上方へ引いてカットしてください。



2. MPTタイプの場合

印字後のロール紙のカットは、ロール紙を上方に引かず手前に引いてカットしてください。



□ 壁面取付時のセット方法（MP Tのみ）

プリンタの底面には 右図の寸法で壁面取付用の穴が前方1個、後方2個設けてあります。

壁面に取付穴と同じ寸法で、下記の使用ねじ参考図を参照してセット時にねじがケース内部に5 mm以上入らないように取り付けてください。

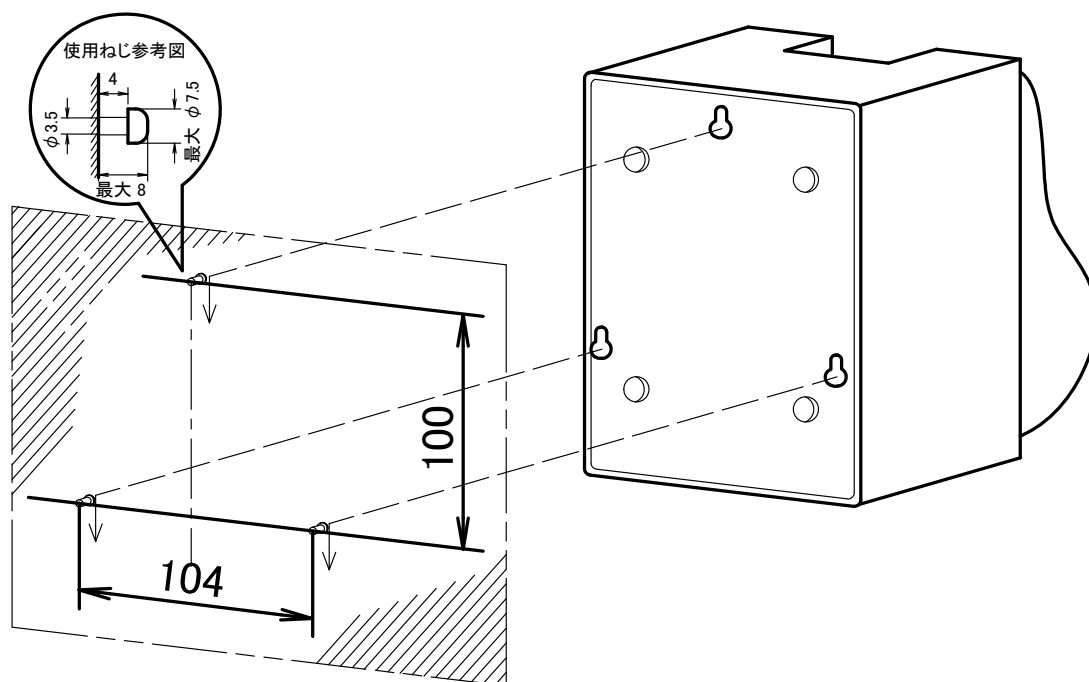
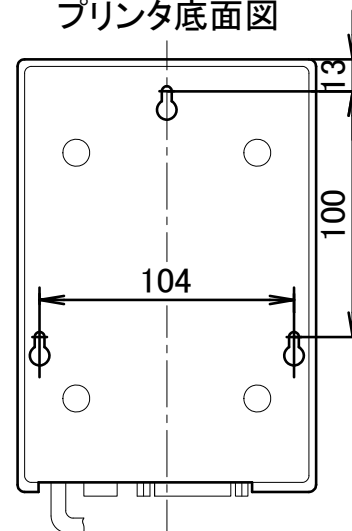
ねじの頭をプリンタ底面の取付穴に入れて プリンタを下側にずらします。（下図は壁面裏側から見た図です。）

この時、プリンタが確実にセットされた事を確認してから手を離すようにしてください。

プリンタに衝撃を与えますと 破損，故障の原因となります。

又、壁面への取付時は必ず ロール紙ホルダー側を下にしてください。

プリンタ底面図



□ 消耗品の購入について

- リボンカセット： 型式 IR-91B
購入単位は10巻です。
- ロール紙 ： 型式 NR-582
購入単位は20巻です。



ナダ電子株式会社

本 社	神戸市東灘区本山南町1丁目4番43号 TEL(078)413-1111 FAX(078)412-2222	〒658-0015
東 京(営)	東京都港区芝4丁目5-11 芝プラザビル TEL(03)3455-4230 FAX(03)3455-4249	〒108-0014
名古屋(営)	名古屋市名東区上社1-1304 北村第三ビル TEL(052)776-1921 FAX(052)775-6080	〒465-0025
福 岡(営)	福岡市博多区博多駅南1丁目7-16 オーリン7号ビル TEL(092)471-8305 FAX(092)471-8355	〒812-0016